

2021年度「若者×ツナグバ」活動報告書

団体名: グローカル・アバンセ

活動名: コロナに負けるな! オンライン/オフライン国際交流

★ 団体紹介 (結成時期、構成メンバー、結成の目的、活動方針等)

活動趣旨: 「Glocal」

Global&Local ⇒ 国際的な視野を持ち地元で活動
 少子高齢化が進むものの在留外国人が増加する故郷で
 コミュニティスクールと連携して、国際交流を発展させ
 「多文化共生社会」の構築に貢献する。

設立: 2020年6月1日
 (NPO) One For All「温故知新」PJからのスピンアウト団体

「グローバル・ジャーニー」

GLOCAL JOURNEY

略称: 「GJ」

高校生中心: NPO全面支援

「グローバル・アバンセ」

GLOCAL AVANCER

略称: 「GA」

大学生中心: 自主性高める



活動メンバー 全員山口県出身



コード名	学年	専攻	所在
① ジャスミン	4	マーケティング	韓国釜山
② サクラ	3	経営情報	山口
③ ハヤト	3	国際ビジネス	山口
④ チェリー	3	観光	和歌山
⑤ ズミ	2	政策科学	福岡
⑥ シバチャン	2	国際総合科学	山口
⑦ マモ	2	幼児教育	山口
⑧ フィッシュ	2	医学部	山口

新規加入 1年生メンバー



当初の計画

活動地域： 宇部市吉部(きべ)地区 (中山間地域)
連携先： 吉部小学校・同校放課後子供委員会・市内在住留学生
対象： 地域の小学生・住民の皆様・留学生
活動時間： 放課後実施 (同校放課後子供委員会が主催)

オンラインとオフラインの交流を企画

～オンライン～
＜ゲーム＞＜各国紹介＞
＜日本についての学習＞

～オフライン～
在留外国人と共に日本の伝統文化や
四季折々の歳時交流

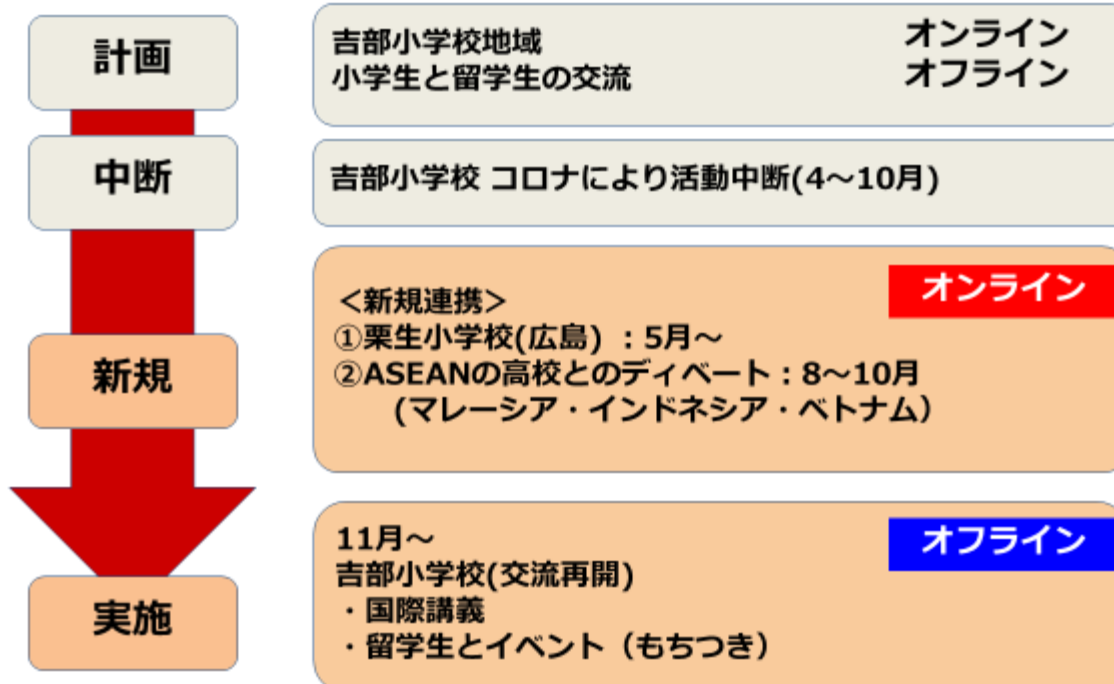
吉部地域の選択理由

- ・吉部小学校は**コミュニティスクール**で、これまでも交流機会があった
(コミュニティスクール=学校と住民の共同地域活動)
- ・英語教育が盛んで、国際交流に理解がある



コロナ禍により 活動内容変更

延べ参加者：950名



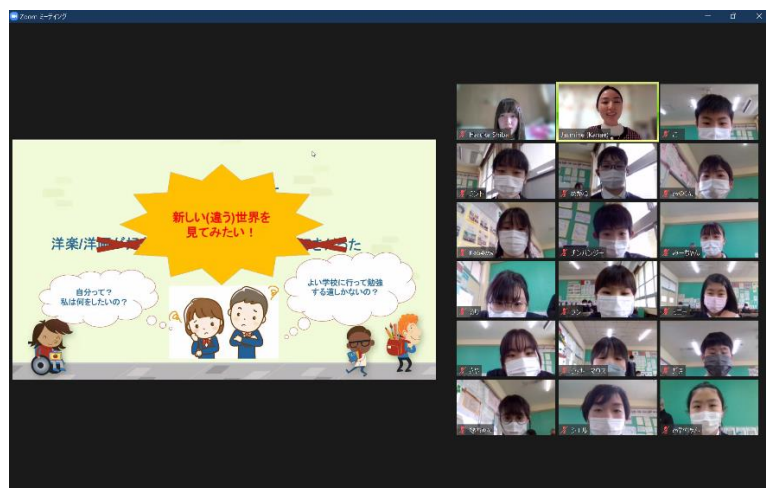
栗生小学校(広島) NPOからの紹介

国際交流活動に熱心な
コミュニティ・スクール・カフェ校

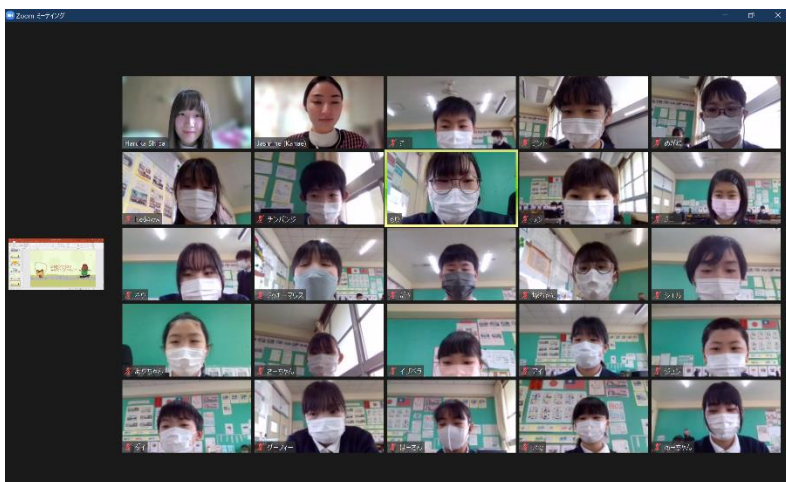
- ・ 実施内容：オンライン国際交流
小学生と留学生相互文化の紹介
- ・ 準備期間：21年5月～22年2月
- ・ 実施日程：21年6月18日・22年2月14日
- ・ 実施場所：栗生小学校(広島県府中市)

参加者：延べ160名

- ・ 小学5・6年生（2回）：58名
- ・ 教員・地域住民（2回）：26名
- ・ GAメンバー4名/留学生4名（2回）：16名
- ・ 準備/打合せ（6回）：60名



2月14日開催 国際交流会 第一部講演会の様子(写真1)



2月14日開催 国際交流会 第一部質問時間の様子(写真2)

吉部小学校(交流再開)

国際講義

- ・企画連携：GA, 吉部小学校
- ・実施日程：12月6日(月) 2時間
- ・実施場所：吉部小学校内

GAメンバーの海外経験の講義

参加者：延べ40名

5, 6年生	: 9名
教職員	: 6名
子供委員会の方	: 1名
GAメンバー	: 3名
準備・打合せ(2回)	: 21名



吉部小学生へ向けて
海外の学校生活の話をしている様子

吉部地域交流再開

もちつき大会

- ・企画連携：GA, 小学校放課後子供委員会
- ・実施日程：12月5日(日)
- ・実施場所：吉部地区(委員会メンバー宅)

- ・もちつき ・窯でご飯炊き
- ・焼き芋 ・焼き魚

参加者：延べ50名

・留学生	: 18名
・吉部の皆様	: 8名
・GA	: 8名
・準備・打合せ(2回)	: 16名



お餅づくり



窯でご飯炊き

ASEANの高校とのディベート

留学生からの紹介：オンライン

<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備期間：8月～10月/GA参加者6名 ・ 実施日程：10月13日(水) ・ 実施場所：Youtube上
<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ：11種の絶滅危惧種の中から 生存させるべき動物を選ぶ 使用言語：英語
<p style="text-align: center;">参加者：延べ600名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ASEANの高校生 : 10名 マレーシア・インドネシア・ベトナム ・ 宇部高専生 : 1名 ・ 各国の教員 : 30名 ・ 閲覧者 : 400名 ・ 準備/打合せ (8回) : 160名



担当の動物に
なりきって論戦



ASEANの高校との日本語トークショー

留学生からの紹介：オンライン

<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備期間：8月～10月/GA参加者8名 ・ 実施日程：10月27日(水) ・ 実施場所：Youtube上
<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ：パンデミックでの生活 ・ 使用言語：日本語
<p style="text-align: center;">参加者：延べ100名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マレーシアの高校生 : 6名 (日本語クラス) ・ 宇部高専生 : 2名 ・ 宇部高生 : 2名 ・ マレーシアの教員 : 10名 ・ 準備・打合せ (5回) : 80名



参加者の声

栗生小学校／吉部小学校

- ・マレーシアとインドネシアについて事前に勉強してしたが、実際に聞いて良かった。
- ・小学校にALTがいるが学校の授業とは全然違い、オンラインだけどライブ感があった。
- ・ASEANの方とは初めてのコンタクトで、とても新鮮だった。
- ・食物の話では東南アジアと日本料理の共通点を見つけられて楽しかった。
- ・講師が地元出身なので、海外へ行くことを身近に感じた。
- ・中学校に行っても講義して欲しい。

留学生

- ・日本では習う立場だが、小学生との交流では教える側に立てたので楽しかった。
- ・年が離れた子供達との交流は新鮮だった。
- ・ガチガチの授業形式ではなく、ゲーム感覚で日本のことが学べてとても楽しい。

ASEAN高校との交流

- ・ディベート：とても緊張したが、学校英語とは違う討論英語を学ぶことができた。
- ・トークショー：国際交流は英語の先入観があり、日本語で交流が出来ることを知って大変愉快だった。コミュニケーションが楽し、これで国際交流のイメージが大きく変わった。

活動の効果

各校の反応

- ・吉部小学校／栗生小学校：来年度も活動を継続したい。
- ・宇部高専：国際交流に力を入れており、学校としてGAとの連携を強化したい。
→22年1月11日に当団体のプレゼン実施（参加25名）
- ・宇部高校：個人単位で国際交流活動への参加を希望 →希望者向けにプレゼン随時実施

GAメンバー

- ・参加者に国際交流が身近なものだと体験してもらうことができた。
- ・国際交流のイメージを楽で楽しいものと伝えることができた。
- ・一過性に留まらず、活動の継続性に自信が付いた。



- ・国際交流活動に関する教育機関との連携強化
- ・高校生の参加により、交流人口が増加
- ・海外との交流により、オンライン国際交流の幅が拡大

まとめ

反省点

- ・リスクヘッジ能力が不十分
オフラインでのコロナ感染をどう防ぐか、万一感染者が出た場合の対応力がない為、オフラインができない状態が長く続いた。
→社会人の方々にレクチャーを受けて習得していく。

来年度について

- 来期も貴財団の若者×ツナグバに応募した。
今期の活動から得られた経験を活かして、更に国際交流活動を深化させる。
- ・貴財団にご支援頂き、今期はコロナ禍でも対応できるオンライン・システムを整備し、オフラインとの融合活動の基盤を整え、国際交流を推進した。
- ・来期は「国際交流＝英語」の概念を払拭し、「日本語を交流言語」として、いつもは生徒役の小学生を先生役に、日本の「おとぎ話」を在留外国人に紹介する新プログラムを開発する。
- ・連携先は今期の活動で関係の深まった宇部市吉部小学校、府中市粟生小学校と在留外国人の皆様。

★ 若者×ツナグバへの提言（改善につながるヒント、要望）

一年間支援していただきありがとうございました。若ツナを通して他団体の方々と交流することができてとても良い経験となりました。一年間を振り返って思い当たる困ったことは、定期交流会での定期報告としての発表資料を作ることが難しく感じたことがあったことです。しかし発表をする機会があることは活動の振り返りができて私自身のスキルアップにもつながったと考えています。個人にとっても成長の機会となりました。ありがとうございました。